

別紙質問書様式

契約件名	東北自動車道 加須IC受配電自家発電設備更新工事
------	--------------------------

番号	質問箇所	質問事項	回答事項
1	図面番号 3 および 4 受配電単線結線図(1/3)および(2/3)	所内変圧器盤の変圧器容量は 300kVA となっていますが、負荷容量合計が 514.39(kVA) (内訳: 3φ 3W210V 側 / 276.638(kVA)、3φ 4W182-105V 側 / 237.752(kVA)) とあります。負荷容量に対して変圧器容量が小さいと思われますが、問題はありませんでしょうか。	変圧器容量は需要率及び不等率を加味し算定しておりますので、300kVA で問題ございません。
2	図面番号 3 および 4 受配電単線結線図(1/3)および(2/3)	所内変圧器盤の変圧器 2 次側ブレーカ (MCCB) 容量は、3φ 3W210V 側が 2000AF、3φ 4W182-105V 側が 1000AF となっておりますが、負荷容量に対してブレーカ容量が過大と思われますが、誤記ではありませんでしょうか。	MCCB は余裕を加味し選定しているため、誤記ではございません。
3	特記仕様書 1-30 実態価格調査票 (P.18)	本調査票は、参考見積書(入札前に提出した最終参考見積書)の項目に対して実績価格の金額を受注者が提出する旨記載がありますが、「実績価格」とは具体的に何の価格を指していますでしょうか。ちなみに本工事における参考見積対象項目は機器製作費の全項目となります。他社から納入する機器の実績価格は、他社への発注金額のことでしょうか。なお、自社にて製作する機器製作費項目は、本調査の対象外と考えて宜しいでしょうか。また、参考見積書の金額と実績価格に開差がある場合は、ペナルティ等が課せられるのでしょうか。	「実績価格」は、下請負契約等を締結した際の当該見積対象項目に対する金額です。他社から納入する機器の実績価格は、他社への発注金額で問題ございません。また、自社製作の機器製作費項目は、本調査の対象外として問題ございません。参考見積書の金額と実績価格に開差がある場合は、開差理由等により対応について判断いたします。
4	特記仕様書 3-4-3 燃料小出槽 (P.26) 4-3 自家発電設備工事 4) 項 (P.31)	燃料槽の総容量は、72 時間連続運転が可能な量とする旨の記載がありますが、燃料槽の総容量とは「燃料小出槽容量 + 主燃料槽 地下タンク容量」と考えて宜しいでしょうか。	そのとおりです。
5		以上	

※質問数が 5 間以上 の場合は、適宜、行を追加すること。